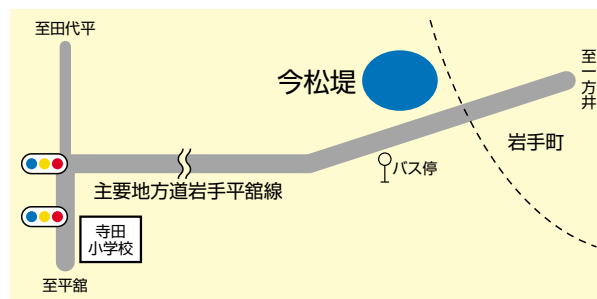




隠れた名所探訪③ 若谷地・今松堤

毎年2月下旬から3月上旬ごろ、シベリアに帰る途中のハクチョウの群れが、西根地区・若谷地集落と岩手町・一方井地区との市町境にある今松堤に舞い降ります。およそ50羽のハクチョウたちは、生まれ故郷に向かって再び旅立つまでの1カ月余り、長旅で疲れた羽根をここで休ませながら、優雅な姿をわたしたちに見せてくれます。(場所：主要地方道岩手平館線、若谷地バス停から徒歩1分)



「新聞は、昨日の出来事が今日の紙面に掲載されるのに、どうして『議会だより』は、議会が終わってから1か月以上も経過しなければ発行されないのだろう」と思われている市民の皆さんが大多数ではないでしょうか。

しかし、何事もそうですが、やると見るとは大違いというように、分量の少ない冊子とはいえず、この編集して発行するという事は(議会事務局の優秀な担当者から手伝っていたではおりますが)慣れない議員にとっては大変な作業です。

「新聞は、昨日の出来事が今日の紙面に掲載されるのに、どうして『議会だより』は、議会が終わってから1か月以上も経過しなければ発行されないのだろう」と思われている市民の皆さんが大多数ではないでしょうか。

議会が終わった翌月末の発行を目指し、各委員で作業分担をして進めます。その時思うのは「締め切りに追われる仕事はストレスもたまるし、早く広報委員の任期を終えたいなあ」という事です。しかし、広報委員の任期を終えるという事は、議員の任期も満了となり選挙。うーん、こちらの方がもっとストレスがたまりそうです。



古川 津好

あとがき

表紙紹介

松尾地区・谷地中集落の古川恵一さん(一家です。(前列左から、父忠男さん・母サキ工さん夫妻、祖母センさん、恵一さん・順子さん夫妻。後列左から、長男大祐さん・雅子さん夫妻、長女末年始で帰省中、二男佑史さん・智沙さん夫妻と一護くん、二女菜美恵さん、長女恵理奈さん)